

第2回 横浜市南区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年4月9日(水) 午前11時30分から午後0時30分まで
開催場所	南区役所7階701会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 八森 淳 (株式会社メディコラボ研究所代表取締役)</p> <p>委員 山本 裕子 (南永田山王台地区民生委員児童委員協議会会長)</p> <p>光永美代子 (南区主任児童委員連絡会副代表)</p> <p>佐々木哲夫 (税理士法人TOS 佐々木会計代表理事・税理士)</p> <p>【事務局】</p> <p>南区福祉保健センター担当部長 鈴木 陽子</p> <p>南区福祉保健課長 御小柴 朋子</p> <p>南区福祉保健課事業企画担当係長 森山 梨香</p> <p>南区福祉保健課事業企画担当 加藤 崇史、尾澤 悠菜</p>
欠席者	あり(委員 平戸 善久(南区連合町内会長連絡協議会監事))
開催形態	一部非公開(指定管理者の候補者(以下、「指定候補者」という。)の選定に関する審議について非公開)(傍聴者0人)
議題	<p>1 事前確認事項</p> <p>2 申請団体の面接審査</p> <p>(1) 申請団体の面接審査</p> <p>(2) 本市重要施策を踏まえた申請団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <p>3 指定候補者の選定、講評</p>
決定事項	<p>指定候補者として、次のとおり、横浜市南区長に報告することとする。</p> <p>○ 横浜市南区福祉保健活動拠点の指定候補者</p> <p>社会福祉法人横浜市南区社会福祉協議会</p>
議事	<p>1 事前確認事項</p> <p><u>(1) 委員会の公開・非公開</u></p> <p>申請団体審査、指定候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み)</p> <p>※なお、申請団体の面接(プレゼンテーション及びヒアリング)は公開</p> <p><u>(2) 面接審査の進め方について</u></p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

(委員)

- ・ヒアリング時の質問項目を確認した。

(3) 応募団体の資格要件等について

(事務局)

- ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。
- ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。

2 申請団体による面接審査

(1) 面接審査

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) ボランティアの人材不足について、南区福祉保健活動拠点としての人材発掘・育成や人材のマッチングなどに関するこれからの見込みや対策を教えてほしい。

(団体) さきほど説明したゴミ拾いボランティアなどをきっかけとしてボランティア活動を行っている人もいますが、ゴミ拾いボランティアなどに参加される人は、社会参加への意向がある方が多いと思っている。

また、南区では、生活支援ボランティアとして、地域で草むしりや障子の張替など、援助してくれるボランティアグループの人もいます。

その他にも、ボランティアの入門講座などでも、ボランティア活動に関心を持つことで新たにボランティアグループに入る人もいます。

しかし、ボランティアの数としては、大勢ではないことは現実である。

そのため、ボランティア一人一人を大事にしながら運営していきたいと思っている。また、地域ケアプラザが行っているボランティアの育成や地域活動などとより連携していくことが区内のボランティアを増やすためには大事だと思っている。

(委員) 現在はボランティアだけでなく、マンションの自治会町内会も委託するような時代になっている。今後も高齢化していく中でボランティアの担い手不足は課題になっていくと思うが、その課題について、南区福祉保健活動拠点としてどのように取組を進めていくのか教えてほしい。

(団体) 運営法人としては、テーマ型のボランティアグループを育てることよりも、地域の隣近所が助け合える活動を目指してきている。高齢化

などを受け、地域のボランティアが減ってきていることは、課題として認識している。

また、南区ではこどもの居場所づくりの活動をしているボランティアグループの方が大変多く、そういった活動が盛んなボランティアグループのネットワークを大事にして、色々なボランティア活動に参加できる方を地道に呼びかけていくことが必要だと考えている。

(委員) 今の活動を継続しつつ、時代の流れの中で新しい方策の検討や地域との繋がりもますます必要になっていくと思う。南区福祉保健活動拠点の役割は大事なので、これからも継続して活動して行ってほしい。

(委員) 現在の財務状況からもっと活動ができると思うが、どのような財務状況で活動を行っているのか教えてほしい。

(団体) 事業費に支出するだけではなく、活動に工夫を行いながら、地区社会福祉協議会などでボランティア活動をしている方や地域ケアプラザなどの関係機関と協力しながら、事業展開を進めていくことが大事だと考えている。

(委員) 南区福祉保健活動拠点で発行している広報紙は、年1回発行しているとのことだが、掲載内容や発行しているねらいなどを教えてほしい。

(団体) 紙媒体は年1回全戸配付を行っている。ボランティア活動の依頼内容等をピックアップして掲載している。また、ホームページなどで情報発信を行っているが、区民の中にもホームページを見ることができない方もいるので、各世帯に南区福祉保健活動拠点の取組を広報することを目的として年1回全戸配付を実施している。

その他にも、法人の取組として、「社協みなみ」を年2回発行し、全戸配付を行っている。「社協みなみ」でもボランティア活動の状況等の内容を掲載しており、「社協みなみ」を合わせると年3回紙媒体で広報を行っている。

(委員) 障害児者への通所への移動に関するサービスなどが以前に比べ少なくなっていると感じている。このことも含め、南区福祉保健活動拠点は、各種ボランティア団体が集まる活動拠点だと思うので、今後も社会的な福祉ニーズの把握と情報共有を進めて活動していくとより頼られる存在になると思う。

(団体) 移動情報センターで相談が多い内容として、障害児の通学に同行してくれるボランティアを探してほしいなどの相談が多くなっており、民生委員・児童委員協議会や地区社会福祉協議会などを通じてボランティア人材を探している。こうしたことを通じて、地域の中で障害児者への理解が広まっていると思っている。また、視覚障害者へのボランティア活動に関し、ボランティアグループと協力して誘導に関する

講座を企画するなど、担い手を確保や育成したいと考えている。一方で、障害に関するニーズはボランティアだけで対応できる内容ではないことも多いため、会議などを通じて、ニーズ把握や課題認識を行っていきたいと考えている。

(2) 本市重要施策を踏まえた申請団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明

事務局より本市重要施策を踏まえた申請団体の取組状況について説明。

事務局より前期実績報告書について説明。

佐々木委員より財務分析結果報告書について説明。

3 指定候補者の選定、講評

申請者から提出された申請書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

横浜市南区福祉保健活動拠点

	申請団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜 市南区社会福祉協 議会	758／960 点	724／528 点

(審査講評)

申請団体は、社会福祉協議会としての活動を基にしながら、区内の各種団体とのつながりを形成しており、団体をつなぐ場所として福祉保健活動拠点をうまく機能させることができていると感じる。ボランティアの担い手不足という課題に対し、様々な方法で地域とのネットワークを地道に繋いでいることは評価できる点であり、これからも期待したい。今後、様々な団体との繋がりの中で、社会的・福祉的ニーズを把握・評価しながら、新たな取組の積極的展開や、事業の再構築等にも取り組んでほしい。

申請者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市南区社会福祉協議会を指定候補者として選定することを決定する。

資
料
特
記
事
項

1 資料

資料1 横浜市南区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会委員・事務局名簿

資料2 横浜市南区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会運営要綱

資料3 横浜市南区における福祉保健活動拠点の指定管理者の候補者の選定等に関する要綱

資料4 指定管理者審査方法・採点方法・最低制限基準・得点等について

資料5 応募団体の財務状況に係る税理士からの意見書

2 特記事項

特になし